

神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

りしお

第 31 号

特集 話題の人



追想 1987 ～ 鎌倉高校前 ～

丸山晶子（昭和63年卒業）

目 次

会長ご挨拶	3	大石さんの思い出	23
鎌倉高校の近況 (校長)	4	現在の鎌高 (行事, 部活)	24
特集: 話題の人「高橋 淳」	5	現在の鎌高 (進路状況)	29
在職中の思い出	11	会計報告	30
職員人事異動	12	うしお会事務局からのお知らせ	32
私のお店紹介	12	総会案内	34
わくわく キッズ コンサート	14	役員名簿	35
同窓会・クラス会	16		

題字：増田 隆子 (旧姓/小島 昭和 41 年卒業)

表紙：作者 略歴

丸 山 晶 子【まるやま あきこ】(昭和 63 年卒業)

神奈川県藤沢市出身 藤沢市在住

小さな頃から絵を描くことが大好きで水彩画、油彩画、パステル画を趣味で描き続けてきた。その後京都で染織を学び、型染めや藍染めを中心に制作。

自ら名付けた“型絵染画”とは型染めの技法を取り入れつつ、彩色では単に色を染めるといよりは描くという絵画的な表現方法を使っている。湘南の四季の風景を主に制作。

2008 年 鶴沼桜が岡にアトリエ兼ギャラリー“あとリエ梅庵”をたちあげ、個展やグループ展、イベント、ワークショップも企画開催している。



会報に寄せて

会長 鈴木勝貴
(昭和45年卒)



今年も新たな卒業生を送り出し、そして新入生を迎えた母校。伝統を積み重ねゆく鎌高。

同窓会も新しい形へと変わらなければと考えております。皆様方の積極的参加をお願いいたします。

今回変更が二点ございます。まずは、個人番号を西暦＋クラス＋出席番号といたしました。二点目は昨年度の総会にて承認を得ましたお支払い方法と金額でございます。協賛金をコンビニにてお支払いいただけますように手続きをさせていただきます。いままでの協賛金平均額が三千円ほどでありましたので、コンビニでの支払は一律三千円とさ

せていただきました。一口一千円は変わりませんので、その他の金額を協賛いただけます方には郵便局または銀行振込をご利用頂きますようお願い申し上げます。その際には宛名に記載されており八桁の個人番号を記入(打ち込み)頂きますようお願い申し上げます。

鎌高の同窓会室は校舎の一室を間借りしております。同窓会館なるものを敷地内に設置している高校もあるようです。うしお会 鎌倉高校同窓会のグランドデザインは、同窓会館を建設し、そこに各部室を設ける。同窓生と現役生そしてPTAの交流の場、そんな構想を私は抱いております。多くの皆様の御協賛を賜れば夢ではなくなると思っています。昨年の会報には部室の建て替えを視野にいれてと書きましたが、更なる夢を膨らませてみました。

各卒業年度において同窓会、クラス会が開催をされております。皆様の青春がよみがえる日。高校時代の想い出を会報・ホームページに投稿して下さい。そこにまた新たな出会いが生まれるかも知れません。その繋がりが夢の実現になると思っています。

日常の付き合いの中でも同窓生と知り合う機会が多々あります。地元根付いている方々がほんとに多いんです。また、母校愛が強い方々ばかりです。

最近では「Facebook」で同窓生を探したりと様々なツールがあるようです。若い方々(だけではないかも知れませんが)はそのような中から「うしお会」の輪を拡げていただけたらと思っております。

そして、うしお会に対して多くのご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後に、鎌高と同窓会うし

お会の繁栄、そして会員皆様方のお祈りし挨拶いたします。



鎌倉高校に赴任して

校長 柏木隆良



平成24年4月より、山の自然に囲まれ、研究学園都市として整備された厚木

市森の里地区に位置する県立厚木西高等学校から、海の自然に面した、海風の強い県立鎌倉高等学校に赴任いたしました。

鎌倉高校のロケーションは、江ノ島、相模湾を見渡せる絶好の景観地に位置し、あこがれの学習環境だと思えます。

先日、日曜日に仕事で来ていましたところ、海外からのご夫婦がバスケット漫画の「スラムダンク」の試合会場のモデルになった学校ということ、見学に来ておられました。台湾からの国際理解交流において、台湾の生徒たちが体育

館を見学して歓声をあげていました。「スラムダンク」は、日本のバスケット漫画ですが、アニメーションとして海外で広く放映されており、鎌倉高校は、アニメのモデルとして国際的な有名な高校でもあります。また、4月12日には、「つり球」という新しいアニメーションでも主人公が通う学校のモデルにもなっています。

伝統と文化の街、鎌倉市にある鎌倉高校もまた伝統と文化に支えられてた優れた学習環境の元、生徒はのびのびと高校生活を送っています。鎌高の生徒の持つ大きなポテンシャルがこの高校生活の中で大きく発揮されて、学習、部活動等への力となり、優れた成果が得られることを期待しています。

平成23年度の進学状況では、現役生で国公立大学50名が合格しており、進学における成果も大きく伸びています。

平成19年度から指定された学力向上進学重点校を柱として、かまぐら学、国際理解教育、SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)を活用した理科教育等、様々な学びを展開するとともに部活動にも頑張っています。

それらを支えていただいている大きな力のひとつが潮会だと考えております。是非、後輩の生徒たちを見守っていただき、皆様のご支援・ご協力を継続していただければと思います。よろしくお願い申し上げます。



特集

II 話題の卒業生 II

横須賀共済病院

循環器センター長兼

診療部長

高橋 淳

人生はショータイムのショー

今回は不整脈治療の第一人者であり、カールテール手術でトップレベルの高橋淳医師にスポットを当てました。

現在横須賀共済病院に勤務されており、今年の2月2日にお忙しい中、鎌倉高校で高橋淳医師が講演をされました。その時の講演内容が素晴らしかったので、従来のインタビュー形式に代わって、講演内容を載せました。

聞き手：S41年卒 森田豊文



私は、横須賀共済病院で医師をしている高橋 淳（たかはし あつし）と申します。

医療講演以外で講演をするのは初めての経験なので、多少話しきれないことや伝わらないことがあるかもしれません。

私は32年前に鎌倉高校を卒業し、その後1度も母校に足を運んだことがなかったため、今回は良い機会と思いい、高校時代に3年間利用した江ノ電で藤沢駅から乗って来ました。幸運にも2両の昔の型の江ノ電であり、乗っている間、非常に懐かしい思いに浸ってしまいました。特に、腰越駅を出てから、海が見えてきた瞬間は、素晴らしいと思わず声が出そうになってしまいました。また、この様な素晴らしい環境で高校生活を送ったのだと、今さらながら、感銘を受けました。

病床は、735床の総合病院で、横須賀・三浦半島地域の医療を担う基幹病院の役割を果たしています。創立100年以上の歴史のある病院で、昔は海軍病院でした。

1400人の職員の内、医師172人、看護師650人が働いています。私は、心臓疾患を扱う循環器センター（循環器内科と心臓血管外科）のセンター長を務めるとともに、全内科を統括する診療部長（管理職）も併任しています。循環器センターには、循環器内科医師19名と心臓血管外科医師2名が働いています。私の仕事は、週3回の外来診療、それ以外の時間は、私の専門であるカテーテル治療を行っており、監督的な立場でありながら、まだまだ臨床でも頑張っているという現状です。

自分の昔を回想してみると、自分の思い通りに行かない、いくつかの誤算があったような気がします。

中学生のころ体操を真剣にやっていたので、高校でも体操を続けたかったので、私が鎌倉高校に入学した2年前に体操部は廃部になっていました。今は復活したそうですが、高校では、体操を思う存分できると楽しみに思っていたのですが、その思いは入学とともにはかなく崩れました。これが一の誤算でした。やろうと思っていたことができなかったわけですが、多くの友人とこの素晴らしい環境に恵まれ、日々楽しい高校生活を送ることができました。今はどうかかわらないのですが、昔は、鎌倉高校の素晴らしい環境に恵まれているため、勉強に身が入らず、鎌ボケと言われていて、浪人する生徒が多かったのです。私も御多分に洩れず、現役ではだめで1年浪人して埼玉医科大学に何とか入学しました。大学で

は、医師になるための勉強は人並みにしていましたが、テニス部でテニスに明け暮れる毎日でした。優等生ではない中でも、なんとか医師国家試験に合格して医師になったわけです。通常、医師になると大病院の教授を長とする組織、「医局」に所属（入局）し、一人前の医師となるための研鑽を積むのですが、私は母校の埼玉医科大学に所属せずに東京医科大学に入局しました。今思えば、これは私にとってかなり無謀だったかと思うのです。なぜなら東京医科大学の医局には、優秀な医師が全国から集まって来ていたからです。なぜ、この様な無謀な選択をしたのかというと、自分の母校の大病院だと勝手知った先輩が多く在籍しているため、甘えが出るのではないかと思つたことが理由でした。私は、学生の頃、内科を志したいと思つていました。内科で有名な先生と言え、医学生なら必ず読むと言われる「内科学」や「内科診断学」等の内科の参

考書を書かれていた東京医科大学第2内科の教授・竹内重五郎先生でした。私の様なものでも、竹内先生に教えを請えば、一端の医師になれるのではないかと、安易な考えで、東京医科大学に入局させて頂きました。ところが、竹内先生は、病気にかかられていて、教授職には就かれていましたが、僕は竹内先生から教えを請うことは全くなかったのです。これが私の第二の誤算でした。更に追い打ちをかけるように、同期の先生達は秀才揃いで、知識も英語力も太刀打ち出来ず、大変な医局に所属してしまつたと愕然とするともに、これから、ついていけるであろうか、また、今後、一端の医者になれるのであろうかと、劣等感と不安を強く抱いていたことを思い出されます。頭では太刀打ち出来ませんが、体力的には自信があつたので、体育会系のもので、与えられた仕事を一つ一つしっかりとやりました。人が嫌がる仕事も率先して機敏にするようにし

たのです。そうすると上司の先生も、徐々に私を評価してくれるようになりました。

社会は、頭がいいから必ず評価してくれるというわけではないのです。

医師になつて、1年目、2年目と仕事を続けていく中で、たくさんのお患者さんを受け持たせて頂き、多くの病気の治療にあたり、上司の先生に教わる中で、たくさんのお経験をさせて頂きました。仕事というものは、どの分野でもそうだと思いますが、経験というものから自信がでてくるのです。私自身もそうやってたくさんのお患者さんの診療をすることで自信が出てきました。2年間の内科一般の研修が終わつてから、最も興味があつた循環器内科を専門として選択しました。循環器内科というのは心臓の病気を診る内科で、他の内科のように悪性疾患（癌等）がないため、頑張れば治すことが可能な診療科であり、私が選択した理由です。

循環器内科に携わつてからも、

患者さんを治すためにすべきことや覚えることは沢山あり、その頃はまだ、「一端の医師になれば」と考えていました。もう一つ私がこの分野で頑張れた理由があります。私の2年先輩で、私が医師になりたての頃から指導して頂いた先生がいました。仕事を極めてスマートにこなし、私のあこがれの先生で、出来の悪い私をいつも叱咤激励してくれました。この先生のような医師になりたいと思つていたことで私は、頑張り続けられたと思います。この先生が、循環器内科の中でも不整脈診療を専門にしていた影響で、私も不整脈診療を目指す様になつたのです。ちょうどその頃、薬の治療しかない不整脈治療に、カテーテルによる根治療法として、カテーテルアブレーションという新しい治療法が日本に導入されました。詳細は後でお話します。循環器内科の病気は、不整脈だけではありませんが、私は、不整脈の治療を根底から変えたこの新しいカテーテル治療に興味

を持ち、このカテーテル治療の習得に他の医師よりも多くの時間を割くようになりました。自分の技術の向上により、知らず知らずの内に周りの先生達から期待されるようになり、多くの学会発表もさせていただきました。学会発表では、多くの質問に答えるための高度な知識を習得しなければならず、今回は準備が間に合いそうにありません、限界です。なぜこんな私に期待するのですか？」と上司の先生に言いたい時も多々ありましたが、そんなことは言わず、寝ずに準備した時もありました。しかし、終わってしまうと、自分分は、これが限界じゃなかったのだ」と思う様になり、その内、自分の限界の設定が高くなり、ある時期からは、限界がよくわからなくなってきた、さらに高みを目指すようになりました。

かには無縁だと思っていたのですが、1996年、私に海外への留学の話が舞い込んできました。一つは、憧れの2年先輩の先生が留学していたアメリカ、もう一つは、先輩達が留学したところのないフランスでした。アメリカの留学先は、給料もでる良い条件でした。一方フランスの留学先は、無給ではありませんが、当時、不整脈のカテーテル治療の世界トップのHaisis aguerre（ハイサゲール）教授という先生のいる病院で、彼は、その頃まだ治せないと言われた、心房細動」という不整脈に対するアブレーション治療を果敢にも行っていた先生でした。私は、世界一の不整脈治療の病院とフランスというお洒落な環境を思い描いて、ここでも無謀な選択と思われるフランスを選びました。

の個々の部屋に台所1つ、共同トイレ2つ、共同シャワー2つです。日本と違いすぎるこの環境に愕然としました。これが僕の第3の誤算でした。さらに、またもや追い打ちをかけるように、病院にはハイサゲール先生を筆頭に数人の先生がいて、皆、考え方から何から優秀な逸材揃いでした。特にハイサゲール先生は、心房細動という不整脈のカテーテル治療のきっかけとなる原因を世界で初めて発見した先生で、考え方、発想は天才と言わざる負えない人でした。ここでも、やっついていけるのか」という、劣等感と不安でいっぱいであったことを思い出されます。そんな中、私は、やるべきことを一つ一つこなすことに全精力を使いました。留学を楽しく、時には自分の考えや技術のアピールし、時には日本人の真面目さを出し、時には同僚と意見が合わず言い争うこともありましたが、本当に簡単ではありませんでしたが、そうこうしてい

る内に、ハイサゲール先生や同僚および看護師の信頼を得るようになり、一人でカテーテル治療を任されるまでになりました。私が2年間の留学を終え、帰国する時に、ハイサゲール先生に、今後、後輩をここに留学させても良いかどうかを尋ねた時には、彼は、君のような先生なら大歓迎だと言って頂き、感激したことを覚えています。

この留学中に感じたのは、天才的な先生や、医科歯科大学にもいたような優秀な先生を見ることができたが、それに臆してはいけないのだということです。やるべきことをひとつひとつやることで、いろんなチャンスがきっかけになるのです。チャンスというのはそこらに転がっているわけではなく、いやなことでも地道にこなすことで、初めてチャンスが生まれてくるのだと。特に社会では、チャンスを得るためにも、すべきことをしっかりとやることです。学生なら勉強をしっかりとやるのが、社会に出て新しい世界を開くた

めのチャンスになるかもしれないからです。

日本では、心房細動のカテーテル治療をまったく行われていませんでした。そのため、

私は、日本で注目されてフランスから帰ってきて、日本での心房細動のカテーテル治療は、私が初めて行い、進化させてきたのです。

せっかくですから私が行なっている心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を紹介します。

心臓というのは4つの部屋に分かれています。上部には、全身や肺から帰ってくる血液を受け取る小さな「心房」という2つの部屋があり、これが収縮すると、下部にある大きな

「心室」という部屋に流れ込み、この部屋が収縮すると、血液は肺や全身に送られます。

つまり心臓というのは血液を受け取って送り出すポンプの様な働きをしています。

心臓の収縮は、電気信号によつて起こります。上部の心房

の筋肉内にある特殊な細胞（洞結節）から電気信号が1分間に60〜80回発信され、それが上部

の心臓（心房）に広がり、まず収縮を起こし、さらにその信号の一部が下部の心臓（心室）に伝わり収縮を起こし、血液を送り出されます。電気信号が規則的に上部の心臓の筋肉、そして

下部の心臓の筋肉へ伝わっていけば何も問題がないのですが、電気信号の発生源やその通り道の細胞の機能が落ちると、脈の遅い不整脈が発生し、また逆に

通常と違う場所から早い異常な電気信号が起こったり、電気の渦が発生すると、脈の早い不整脈になるのです。

不整脈のカテーテル治療（カテーテルアブレーション）は、脈の早い不整脈を治す治療法です。実際には、足の付け根の太い血管から、カテーテルという

数ミリの細い管を挿入して心臓の筋肉の異常電気信号発生部位や電気の渦の一部まで到達させ、カテーテル先端から高周波電流という交流の電気を流すことで、

3〜5ミリメートル四方のやけどを作ることによって、不整脈が治す治療です。実際のレントゲン（心臓の影）を見ながら足の付け根からカテーテルを入れて治療していくので、極めて技術を要する治療法です。

心房細動という不整脈は、不整脈の中で最も多い不整脈で、心臓疾患がなくても、年をとると多くの人がかかり、脳梗塞の原因にもなる怖い病気です。

心房細動は、正常な電気発生源でない場所から、異常な電気信号が連続的に発生すると正常に伝わる電気の信号が乱され、上部の心臓（心房）の筋肉内で3〜4個の電気信号の渦が発生し、心房が痙攣しているような状態になる不整脈です。その

ため、血液の流れが淀んでしまいが、心房内に血液の塊（血栓）ができやすく、それが流れていつて脳の血管に詰まると脳梗塞を起こすのです。

心房細動は、10年くらい前までは、薬で押さえるだけで治すことはできなかったのです。し

かしながら、1998年、私が留学していたフランスの病院のハイサゲール先生が、心房細動を起こす契機となる異常電気信号の発生源の高発部位を発見したのです。それは、上部の心臓（心房）には、肺から帰ってくる血液を運んでくる肺静脈という血管が4本開口しているのですが、その開口部周辺だったので、ハイサゲール先生は、その血管の開口部周囲を丹念にカ

テーテルで焼灼しやけどの囲いを作り、異常電気信号が心臓に広がらないようにすることに

より心房細動が発生しないようにする画期的な方法を考案したのです。血管は4本あるので、その開口部を一本一本の周囲を焼灼することになります。これを私がもう少し成績が上がるよ

うにした方法が、2本まとめて焼く方法で、2003年に考案して国際学会に発表し、今では、私の方法が世界の標準的な方法として行われています。

「医龍」というドラマ知っていますか？

このドラマで、今、お話しした心房細動のカテーテルアブレーションが取り上げられていたのです。実は、そのドラマの医療監修をしたのが私なのです。

心房細動のカテーテルアブレーション治療をなんとかドラマの題材にしたいと依頼されて引き受けました。その日、私は午後には新宿で学会発表を終え、夕方6時にスタジオ入りしました。4〜5時間程で終わるとのこと、終わってから、俳優さん達と一緒に写真でも思ったのですが、アブレーションは、初めての題材であり、スタッフの方達も勝手が違ったよう、うまく撮影が進まず、何度も撮り直しがあり、私の医療監修部分終わったのは、明け方5時でした。残念なことに写真は取れませんでした。

出演していたのです。私としては、4〜5台のカメラの前で演技をする経験は初めてでしたので、少し手が震えていた様に思います。20人以上の多くのスタッフと俳優さん達が長時間の撮影をされており、大変な仕事だと痛感するとともに、その真剣さに感動を覚ええました。私自身も、長時間の撮影にボラントイアとして参加させて頂いた理由は、未だに不整脈は薬で抑えるしかなく思っている患者さん達にこのドラマを通じて、不整脈がカテーテルアブレーションで治せる治療になってきているということを知ってもらいたいために僕も力を注いでなんとかいいドラマにしてみたいかと思っただけです。

余談ですが、患者さん役をさされていた女優の松下奈央さんは、この世の人とは思えない位綺麗なかたでした。素晴らしい女優さんですね。

心房細動という不整脈は、現時点においてカテーテルアブレーション治療ですべての患

者さんを治せるわけではありませんが、それでも、私の病院では、発作的に発生する心房細動や持続する心房細動でも1年以内のものであれば、90%の患者様を治すことができます。1年以上持続する心房細動を有する患者様でも70%程度は治すことができます。10年以上持続しているような心房細動は、多くの医師が諦めています。私の病院では、50%以上治せる状況になっていきます。非常に厳しい戦いです。

私が心房細動のカテーテルアブレーション治療を日本に導入した頃は、なかなかうまくいかず、再発する患者さんが多く、週末は患者様と一緒に、深く落ち込んでいました。それでも限界と思わず、試行錯誤し、現在の成績まで高めてきました。今後、どこまで成績を上げられるかわかりませんが、患者さんのためにも、まだ限界だとは思っていません。

皆さんも自分の限界というものを持っていると思います。自

分はここまでの能力じゃないかと思うことがあると思います。私も医師になったころは、偉い先生になるつもりも、なれるとも思わなくて一端の医者になればいいと思い、限界を決めていました。

しかし、やるべきことを確実にやることで壁を越えられて、一つ一つの限界がなくなってきたのです。

君たちにも、いろんな意味で限界を作らず、もっともっと高みを目指してもらいたい。

自分で限界を決めてしまったら間違いなくその先の成長はないと思ってください。

また、皆が社会に出れば皆さんの可能性やチャンスがあると思いますが、何もせずに巡ってくることは極めて少ないと思います。やるべきことをやって、初めて巡ってくるものであり、それをものにするためには、さらに頑張らなければならぬと思います。よく頑張れば報われると言いますが、はっきりいって頑張っても報われていない人

はたくさんいます。でも頑張っていない人で報われている人はいないのです。成功している人は間違いなく頑張っているのですから。

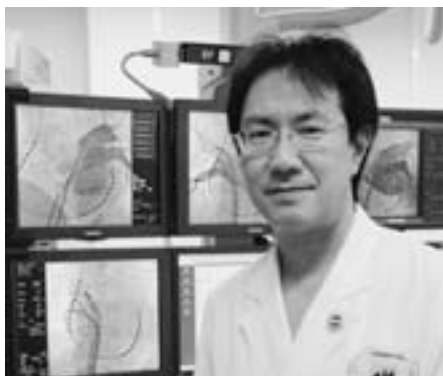
もう一つ、優秀な人は、多くのもものを選択しても、その全てを他人よりも伸ばすことが可能なのだと思います。しかし、私が多くのもものを選択していたら、すべてが平均的になってしまい、現在の私はなかったと思います。他のものを捨てるとは言いませんが、選択肢を減らし、得意なもの興味のあることを見つけ、それに多くの時間を割く(自分のプライベートも割かなくてはいけない時もあるかもしれませんが)ことによって他人よりも高みに登れるのではないでしょうか?少なくとも私はそういう方法で、今に至っていると思います。

最後に人生とは何か。色々な人が色々な事を言っているのを聞くことがあると思います。

私は、人生を一言でいえば、ショータイムのショーであると

思います。

自分をどう演じるか。それが真つ正直な演じ方もあるし、そうでない演じ方もあると思います。それは、子供から大人まで皆同じです。子供はアピールすることで親に褒められようとしてます。恋愛する時でも自分のショーを演じなければ誰も相手にしてくれません。仕事でも、しっかりとしたショーを演じなければ、人は評価してくれないし、出世もないかもしれません。皆さんには、この鎌倉高校の素晴らしい環境の中で、勉強や部活や遊びや恋愛を精一杯楽し



みながら高校生活を過ごし、大学に進んだり、社会に出たりして、素晴らしいショーを演じるための糧にしてもらいたい。私も、これからまだまだ素晴らしいショーを演じられるよう頑張ります。皆さんも頑張ってください。

「プロフィール」

高橋 淳

1961年生まれ

1980年

神奈川県立鎌倉高校卒業

1986年

埼玉医科大学卒業、東京医科

歯科大学第2内科入局

1991年

土浦協同病院 循環器センター内科

1996年ー1998年

フランス、ボルドー大学付属

Hauterlevue

病院留学(Michael Ha

issaguerre教授)

1998年

土浦協同病院 循環器センター内科科長

2003年

横須賀共済病院 循環器センター内科 内科医長

2005年

横須賀共済病院 循環器センター内科 内科部長

2006年

横須賀共済病院 循環器センター長

2009年

横須賀共済病院 循環器センター長兼 診療部長

現在に至る。

テレビ出演

2009年

TBS「これが世界のスーパードクター」に出演

2010年

テレビ朝日「医療最前線」に出演

在職中の鎌高の思い出

鎌倉高校の思い出

林 誠之介（前校長）

平成21年9月に前校長の塩崎先生が急逝され、その後任として10月1日付けで本校に着任してから2年半の間、皆様に大変お世話になりました。現在、横浜緑ヶ丘高校に勤務しています。在任中は、生徒、保護者、教職員、卒業生、地域の皆様など、多くの方々のご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。鎌倉高校での出来事を振り返ると、「感謝」の一言につきまます。

なかでも、生徒たちのはつらつとした活動の姿と自然体で交わす挨拶から、たくさんの元気をもらったような気がします。本校では、とくに運動系部活動に参加する生徒が多いので、日焼けした男子生徒・女子生徒が元氣よく挨拶してくれる

のは、とてもうれしく感じました。また、鎌高祭で見せる演技はどれも見事で、若者がもつエネルギーと果てしない可能性を十二分に感じました。生徒と実際に話すと、堂々とした者からシャイな者までさまざまですが、どの生徒も素直で明るいところが印象的でした。こんなに屈託なく青春を謳歌している若者が、すぐ身近にいることに驚きと喜びを感じたものでした。

略して「○高」と言われる高校はたくさんありますが、「鎌高」は私が着任したその日から自然と口にできるくらい、収まりのいい心地よい響きがあると思います。「県鎌」と呼ばれることもありませんが、鎌倉を代表する高校だからやっぱり「鎌高」がいい。

最近、学区撤廃により全県から生徒が入学するようになり、平成24年度の入学生では、旧学区外から通学する生徒が約42%となります。通勤に1時間半く

らいかかった横浜の私の自宅付近から通学する生徒もおり、鎌高人氣は根強いようです。

湘南の海と江ノ島、いつ仕事しているのか不明のサーファーたち、サザンの楽曲のイメージどおりのロケーション、観光気分を味わえる江ノ電、浜風が心地よい「鎌倉高校前」駅といつまでも海を眺めている旅人、校門から真っ直ぐ伸びるゆるやかな坂、右手の広いグラウンドと青い空、スラムダンクの舞台となった鎌高を今も見学にやって来る中国や韓国からの旅行者、B棟3階の教室から見える青い空と海、そこにこだまする生徒たちの声、何もかもが青春そのもので、生徒と同じ年齢の頃の自分がそこにいるような錯覚をつい起こしてしまっています。

P T Aの方々も学校に来るのがいかに楽しそう。体育祭では、非公開にもかかわらず、百人以上の卒業生と保護者を合わせて約千名の方々が見学にやっ

てきます。年に一度のP T A総会に200人を超える方々が参加する光景は、他校ではほとんど見られません。合唱コンクールの保護者の観覧者も毎年多数。生徒になった幻想を保護者の方もきつと抱いたに違いないと思っただ次第です。

平成24年3月卒業の諸君は、すばらしい進学実績をあげました。長い伝統と歴史がありながら、鎌高はますます伸び盛りです。こうした高校に勤務できたことを誇りに思います。これまで大変お世話になりました。みなさん、本当にありがとうございました。



職員人事異動

○大変お世話になりました。

❖退職者

- 西山 博 正先生(数学)
- 芝原 千 浩先生(家庭)

❖転出者

- 林 誠之介先生(校長)
横浜緑ヶ丘高校へ
- 鵜飼 明 弘先生(数学)
平塚商業高校へ

- 辻 宏 道先生(社会)
大和西高校へ
- 山本 直 樹先生(英語)
平塚湘風高校へ

- 熊谷 薫先生(理科)
緑園総合高校へ

- 大塚 由 美先生(音楽)
横浜旭陵高校へ

- 高橋 敏 雄先生(理科)
茅ヶ崎高校へ

❖兼務・派遣

- 厚美 香 織先生(数学)

総合教育センターへ

○よろしくおねがいします。

❖転入

- 柏木 隆 良先生(校長)
厚木西高校より

- 吉川 隆 明先生(社会)
磯子高校より

- 久保田 和 彦先生(社会)
光陵高校より

- 吉澤 弘 量先生(数学)
平塚江南高校より

- 神橋 尚 子先生(数学)
平塚県税事務所より

- 曾 我 真由美先生(家庭)
神奈川工業高校より

- 佐野 恵先生(理科)
藤沢西高校より

- 山本 徹先生(英語)
大師高校より

❖新採用

- 松井 麻 実先生(英語)

- 村岡 小綾子先生(音楽)

私のお店紹介

いつか自分の店を…

21回生 (S45年卒)

齋藤 正二郎

鎌高卒業生のお店が藤沢駅南口にあると聞き、女性四名レポーターよろしく行って参りました。

駅から徒歩三分、ファミリー通りを入り、フジサワ23ビル二階にあります。

テーブルが六席(三十名)ある茶色を基調とした落ち着いたきある雰囲気です。



接客担当の笑顔の優しい奥様に迎えられ、お二人の話を聞きました。

洋食の修行を二十年近く積み、いつか自分の店を持ちたい、それも地元でと考えるようになりました。それを奥様に打ち明けられたのは、開店三ヶ月前。七才を筆頭に三人の子の育児で一番忙しい時でした。接客は全くの素人、それでもご主人の料理に対する真摯な気持ちを感じ、二人でやっついこうと決められたそうです。

旬の新鮮な食材を

いかにも真面目そうな口数の少ないオーナーに店のこだわりとセールスポイントを聞きました。

◆「和」「洋」の味わいをうまく盛り込んだ創作料理をお出しする。

◆店の名前「鮮」にふさわしく旬の新鮮な食材を揃えること。

料理への期待がふくらみます。いよいよメニューを見ながらの楽しい時間（女性はかしましい）

- ◎ 鹿児島産のそら豆
- ◎ ソフトクラブのから揚げ
- ◎ 旬味膳コースをオーダー

そら豆は春の匂いが口いっぱいに広がります。ソフトクラブは柔らかく、且つパリパリといくらでもいただけます。

コースは先付の烏賊とウドのぬた。食感を楽しめました。お刺身の盛り合わせは甘鯛が



美味。竹の子と飛龍頭（がんもどき）の含煮は、竹の子の上品な味付けが絶品でした。肉料理のミニッツステーキはバルサミコ酢ソースがほどよく、添えの野菜もとても丁寧に作られていました。

締めは玄米の粥。温かくほっこりいたします。デザート（チョコケーキ・フルーツ）といたれりつくせりでした。女性向けというわけではなく、ポリウムたっぷり

気持ちよい空間を

メニューも有り、男女問わず美味しくいただけます。

豊富な日本酒・焼酎・ワインを取り揃え、料理をいっそう引き立ててくれます。

ご夫婦の阿吽の呼吸で温かい料理は温かく、次は何かしらと思えば絶妙のタイミングで料理が運ばれてきます。お二人の料理へのこだわりが活かされ、気持ちよい空間を作っています。また来たい、と思



わせる名店でした。

こっそり教えてくれました。お酒のあとの締めには、裏メニューのチャーハンがおすすめ！とのこと。

そのお店は、一九七〇年卒・野球部OB斎藤正二郎さんの旬・食・菜 魚の店「鮮」です。

旬・食・菜 魚の店 「鮮」

旬・食・菜・魚の店 鮮 SEN
住所 / 藤沢市鶴沼石上1-4-3
TEL / 0466-25-8418
営業時間
月～土曜日 / 17:00-24:00
祝・祭日 / 16:00-22:00
定休日 / 日曜日

旬・食・菜 魚の店 「鮮」

〒二五〇〇二五五

藤沢市鶴沼石上1-4-3

フジサワ23ビル二階

営業時間

月～土曜 午後五時～午後十二時

祝・祭日 午後四時～午後十時

日曜日定休

電話 〇四六七（二五）八四一八

ベルフィーユ・アンサンブル



わくわく

キッズコンサート Vol.3 in 2012

2012 年 5 月 27 日 (日) 午後 1:00 開演 ◆ 栄区民文化センター リリスホール

大人のためのコンサート Vol.3 in 2013

2013 年 1 月 20 日 (土) 午後 2:00 開演 ◆ 逗子文化プラザ なぎさホール



*写真と音楽のコラボレーション
大人のためのコンサート Vol.2 より



安井弘子
ハーブ, 43 回生



加納敬三
フルート, 33 回生



梅津美葉
ヴァイオリン, 44 回生



安藤美佳
ヴァイオリン, 41 回生

わくわくキッズコンサート

0 歳から入場可能! 約一時間のコンパクトな公演。
3 才まで無料・小学生まで 500 円・大人 1200 円

- 第一部: 絵本の朗読と音楽
- 第二部: 一緒に演奏しよう!
- 第三部: ミニ・コンサート

大人のためのコンサート

コラボレーションの楽しみと本格的なコンサート。
前売り 2500 円・前売りペア 4000 円・当日 3000 円

- 第一部: 朗読と音楽 (予定)
- 第二部: コンサート



宇治田かおる
ピアノ, 42 回生



淵岡優子
ソプラノ, 40 回生

ベルフィーユ・アンサンブル



- 2012.1 - 大人のためのコンサート Vol.2
写真家 糸川真木彦氏の写真「人」と音楽
 - 2011.6 - わくわくキッズコンサート Vol.2
朗読「かわいいことりさん」と音楽
 - 2010.12 - 大人のためのコンサート Vol.1
クリスマス休戦「世界で一番の贈り物」と音楽
 - 2010.6 - わくわくキッズコンサート Vol.1
朗読「ふしぎなバイオリン」と音楽
- 《その他の活動》
小学校での音楽鑑賞会
チャリティーコンサート『祈り』シリーズ

～来場者の声～

《キッズコンサート》

- ◎4 歳の娘がちょうどヴァイオリンに興味を持ち始めたところだったので、子供も実際近くで見られて喜んでいました。同じ出身校でグループが組めるのがとてもうらやましいです。私も他の県立高校を出ていますが、この様な素敵なグループがないので…。また聴きに伺いたいです。
- ◎隣席の男児(1才位)は、絵本の画面にさかんに指を指していました。集中していたようです。
- ◎生演奏、本物の楽器を体験できて、孫のみでなく、若夫婦もリフレッシュしておりました。
- ◎完成度が高かったです。全体を通して子供にもわかりやすかったです。
- ◎3才の息子は1部から3部、全て興味深く集中して聞いていました。
- ◎子供と一緒に演奏を楽しめる機会がなかなかないのでとても有難いです。生の音は感動しました。
- ◎親子共、プログラム全体を通じて大変楽しかった。次回も楽しみにしています。

《大人のためのコンサート》

- ◎1部は、優しく柔らかな演奏がとても心地よかったです。写真とともにずっと心に入ってきました。それに加えて、2部では技術の素晴らしさを感じました。
- ◎素晴らしかったです。写真のコラボもとてもよかったです。
- ◎新年の土曜午後、ゆったりとして気持ちで楽しめました。
- ◎写真と演奏のバランスや選曲もよかったです。
- ◎このようなコンサートを、各地でして頂きたいと思いました。また来年も楽しみにしております。



朗読
濱田典子 40回生
元フジテレビアナウンサー

編曲
久松義恭 42回生
写真
糸川真木彦 39回生

鎌高生、OBOGの皆様
多くのみなさまのご来場を
お待ちしております！

=お問合せ=
Tel. 090-4927-6099
Fax 0466-36-1392
e-mail bee_fee_eee@aol.jp



同窓会・クラス会を開催しています

7年振りにクラス会

21回生 (S45年卒)
今井義夫

昭和45年卒業、34組のクラス会を去る11月に2004年以來7年振りに藤沢のホテルで開催致しました。

当日は台風を思わせる悪天候ではありましたが、参加を予定された方、全員出席頂き無事に開催することができました。昨年はご存知のとおり原発事故を含む東日本大震災という未曾有の出来事もあり、クラス会開催の是非も考えましたが、我々も人生の節目である、還暦を迎えることもあり実施することと致しました。残念なことに恩師の佐藤先生は既にご逝去されており、同級生の一人も亡くなられておりました。お二人を偲びながらのクラス会となりました。クラスの参加は十八名と少なめではありましたが、体育の教科



のご担当でした渡辺先生、落先生にご臨席賜り又、同級である同窓会会長の鈴木氏にも出席頂くことになり、大いに盛り上がる事ができました。特に渡辺先生からは佐藤先生のお父様のお話をも伺い出席者全員大変懐かしく思い出に浸っておりまして。各々の近況報告では、笑いあり、拍手ありと、とても楽しい時間となりました。最後に次

回の幹事を決め、又の再会を期し、今は無くなってしまった元応援団団長の岩谷君によりエールと鎌高応援歌の合唱で大変懐かしい、楽しいひと時の幕となりました。

ひとり箱根駅伝

17回生 (S41年卒)
深澤隆史

自分の生まれは藤沢市内で藤沢橋の近く、小さいころから、お正月は箱根駅伝を見て育ちました。その頃から漠然とは箱根駅伝を走ってみたいとは思っていました。今は、テレビ放送のお陰で、沿道には多くの人が応援に出かけますが、昔は、ラジオ放送だけ、ガーガーと音がする鉱石ラジオを耳に当てて、沿道で旗を振って応援した事を覚えています。

鎌高時代はサッカー部、走る事は好きでした。特に40歳過ぎた頃から、肥満防止を兼ねてランニングを始めました。湘南月

<p>日本精麦株式会社 代表取締役 田中 賢三 (昭和37年卒) 〒253-0114 高座郡寒川町田端1590-5 TEL:0467-72-3620 FAX:0467-74-2002</p>	<p>株式会社 ミルススペース 代表取締役 田中 正明 (昭和36年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢973番地 相模プラザ第3ビル6階 TEL:0466-23-3012 FAX:0466-26-6509</p>
<p>セントラルモータープール 代表 田中 重光 (昭和61年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-11-13 TEL:0466-28-7311</p>	<p>ミマツ音響株式会社 代表取締役会長 山本 泰弘 (昭和30年卒) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-7-3 TEL:03-3253-6483 FAX:03-3253-9080</p>
<p>トムズ建築設計 代表取締役 増田 敏彦 (昭和38年卒) 〒221-0834 横浜市神奈川区台町3-11-406 TEL:045-317-5325</p>	<p>ニッポン不動産株式会社 代表取締役 大谷 忠男 (昭和37年卒) 〒151-8537 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 TEL:03-3350-2572 FAX:03-3350-0273</p>



例マラソン、三浦マラソンは定期的に参加していました。今と違って、余り、参加出来る大会は無かった頃です。
 60歳になって、幼いころからの憧れ、箱根駅伝を一人で走って見ようと思いつきました。勿論、1日で東京から箱根まで走る訳ではありません。1年は12カ月、寒い1月、熱い8月を除いて、ひと月、1区間、合計10ヶ月での完走を計画しました。箱根駅伝の1区間は平均20キロメートル強で、普段から走っている距離なので、走り切る自信はありました。

2月、いよいよ東京読売新聞社前をスタートです。ランニングの恰好はするのですが、ゴール地点での着替えの問題が有りますので、ザックを背中に背負ってのランニングです。
 午前8時一斉に号砲一発？一人でスタートしました。駅伝の選手と違って車道を走るわけには行きません。都内は信号、歩道橋が多く、赤信号になりそうだと急いだり、走るペースが乱されます。
 花の2区です。横浜駅前の道路は車のみ、止むを得ず「さごう」の中を走りました。いよいよ、権太坂です。しかし、権太坂以上に厳しいのが、一号線と横浜新道が交わる戸塚で、ラスト3キロ、のぼりが延々と続きます。最後の戸塚警察署の前の登りは、車で走ると、全く、坂を感じない程度の登り坂ですが、大学の選手に言わせると、急坂に見えるコメントしています。が、気持ちの方が分りました。
 3区、地元を走ります。藤沢橋の周辺にも知人が多く、「お

前、何をやっているの？」と言われたらどうしようと思いがら走りました。浜須賀の交差点を過ぎると134号線、海風を受けます。徳光アナが、選手が湘南の風を受けて快調に走っていますと放送していましたが、良く分かります。
 4区は小田原迄の平坦な道路、余り、信号も無く快調に走る事が出来ました。
 いよいよ、5区の箱根の山登りです。この日は、家族総出です。息子も一緒に走ってくれました。湯本を過ぎて、いよいよ、のぼりが本格的に始まります。途中、女房、娘が給水をしてくれました。有名な七曲りの所に看板があり、箱根町まで17キロと書いてあり、ここまで走って、未だ、17キロもあるのかと弱気になりました。又、宮の下を過ぎた急坂、選手が「直角の壁に見える」と表現していましたが、実感です。
 途中、休んで飲料水を飲んでいる時、あるお年寄りが、何処まで行くの？と聞いたので、

<p align="center">江島神社 宮司 相原 窓彦 (昭和39年卒) 〒251-0032 藤沢市片瀬4-14-21 TEL:0466-22-4324 FAX:0466-22-4324</p>	<p align="center">株式会社 ケンジ 会長 飯嶋 勝男 (昭和38年卒) 〒251-0024 藤沢市鶴沼橋1-17-5 TEL:0466-26-0309 FAX:0466-27-1322</p>
<p align="center">株式会社 ウエルカム 代表取締役 増田 隆之 (昭和40年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢559 角若松ビル TEL:0466-25-3005 FAX:0466-25-3006</p>	<p align="center">藤沢市役所 日坂会 180人の会員が元気でがんばっています!</p>
<p align="center">総合建設 大沢組 代表 大沢 廣和 (昭和41年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢3-2-14 TEL:0466-22-2225 FAX:0466-22-3119</p>	<p align="center">株式会社 ワイエスシー 代表取締役 小泉 稔 (昭和40年卒) 〒220-6213 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC13F TEL:045-227-5711 FAX:045-227-5747</p>



箱根町の郵便局ですと答えた処、こっちの道の方が近いよと教えてくれました。なんだか行きたくなくなってしまふような複雑な気持ちでした。

途中、少し歩きましたが、無事、万歳をして、ゴールしました。ゴールでは家族がゴールテープを持って待っていてくれました。

当然、山登りの時が一番苦しかったです。柏原に負けるなど自分の気持ちを鼓舞したり、自分がアナウンサーになったつもりで、W大の深澤選手、快調で、既に4人を抜いて、前を走る駒

沢大学の選手を抜こうとしています等と一人実況中継をして気持ちを紛わせました。ちなみに、東洋大の柏原選手は、今年、1時間16分39秒の新記録で走りましたがW大の深澤選手は、4時間13分、何と柏原選手の3.6倍かかっています。

6区は山を下ります。下りは膝を痛めると聞きます。ゆつくりと走りましたが、やはり、足腰にはダメージを感じます。これまで、走っている時に苦しくなるとW大の応援歌を歌ったりして走りましたが、調子が出ません。下りはリズムが大事だと聞いていたので、思い切ってK大の応援歌を歌った処、これが走るリズムにピッタリで快調に走る事が出来ました。

6区の終わりに蒲鉾屋さんがあります。そこで食べた試食の蒲鉾の美味しかった事忘れません。

7区は、一番短い区間です。平坦な道ですので楽勝です。

8区は、最後に遊行寺の急な登りがあります。箱根の山登りの時は、走っても走っても登り

で、コーナーを曲がると、又、登りかと、延々と登りが続くので、気分的に減りますが、遊行時の急坂は、あそこまで登れば後は平らと目標がはっきりするので、気分は楽です。

9区は、走り出しが下り坂なので、気分は楽です。あつと言う間に横浜駅と言った感じですよ。いよいよ、最終区、やはり、同じように信号、歩道橋に悩まされます。京浜急行沿いに走るの、次は大森、次は品川等と口ずさみながら走りました。

日本橋を渡って、いよいよゴール。同じ様に家族がテープを持ってくれていて、両手を挙げて、箱根駅伝を優勝した気分がでた。歓喜のゴールしました。ゴール付近は、黒山の人だかりかと思ったら、日曜日なので4人の観客でした。

各区間でゴールした後、コンビニ、あるいは駅のトイレで素早く着替え、帰りの電車の中でスポンサーのサッポロビールを飲む、人生、至福の時でした。

記録を見てみると、今年、優

<p>株式会社 ポントロ トレーディング 代表取締役 程嶋 幸男 (昭和41年卒) 〒231-0014 横浜市中区常盤町2-20 ヴェラハイツ関内802号 TEL: 045-308-6081 FAX: 045-308-6082</p>	<p>学校法人 北鎌倉学園 おおぞら幼稚園 理事長・園長 山田 誠一 (昭和41年卒) 〒247-0056 鎌倉市大船5-10-35 TEL・FAX: 0467-46-2932 MAIL: ohzora@momo.so-net.ne.jp URL: http://www.ohzora.ed.jp</p>
<p>フライスター株式会社 代表取締役 関 全男 (昭和43年卒) 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-6-1 TEL: 045-470-0330 FAX: 045-474-3768</p>	<p>株式会社 齋藤商店 代表取締役 齋藤 光久 (昭和42年卒) 〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸3-1-7 TEL: 0466-36-3188 FAX: 0466-33-3380</p>
<p>旬・食・菜・魚の店「鮮」 斉藤 正二郎 (昭和44年卒) 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-4-3 フジサワ23ビル2階 TEL/FAX: 0466-25-8418</p>	<p>株式会社 イシイフーズ 代表取締役 石井 英樹 (昭和43年卒) 〒251-0047 藤沢市辻堂1-8-29 TEL: 0466-34-7072 FAX: 0466-34-7072</p>

勝した東洋大学の往路復路の合計が10時間51分36秒それに比べて、深澤選手の記録は29時間23分と約2.7倍。1年かけて、217.9キロを無事完走！



次の目標は、日本橋をゴールとする5街道制覇を考えています。勿論、全てを走ろうとすると白寿を越えてしまいますので、日本橋から125キロ地点、東海道は三島、中央道は甲府、中山道は高崎、東北道は宇都宮、常磐道は水戸を出発して、途中、宿泊しながらの完走を目指します。

彫刻家高田博厚を

訪ねた話

17回生(S41年卒)

長嶺 朗

1971年、東京外国語大学イタリヤ科を卒業、一橋大学大学院に進学したばかりの頃、ふと思いついてイタリヤ科の大先輩、高田博厚を訪ねたことがあった。

氏は、岩波書店の雑誌「世界」に、自伝「分水嶺」の連載を開始するとともに、テレビ出演し、自らの彫刻について語っていた。そのとき画面に映った作品は、「中原中也」像であった。当時白樺派出身の画家で、セザンヌをはじめとする印象派を精力的に紹介した有島生馬もおなじ稲村ガ崎に住んでいた。

高田博厚に電話で訪問したい旨を伝えると、「私は朝八時から夕方五時まで毎日制作しているの、アポイントをとって来なさい」とおっしゃったので、「〇〇日の三時頃うかがいます」と予約し、当日、梶原

からバスと江ノ電で高田邸にむかった。説明では、稲村ガ崎の養老院の横の坂道を上って、突き当たりだということで、そのとおりに行ったが家が見つからない。そこで、近所の人に高田博厚さんの家はどこでしょうとときくと、わかりませんという答えであった。一本、筋を間違えていたのだ。

それにしても有名な人のはずなのに近所の人知らないというのも不思議な話だとそのときは思った。その後、有名、無名とは、関心があるかないかの違いで、人によって基準が大いに異なるということを知った。太学に入って、恩師の河島先生(後にパヴェーゼ文学集成を翻訳)が「最近よく植木等さんという名前を聞きますが、あの方はどんな人なのでしょうね」といついたのもなるほどとおもう。

高田邸は稲村の山のとっぺんにあつて、玄関に出てきたのは、質素な身なりの小柄な老人であった。応接室で対面し、座ってお話をうかがった。部屋に入

<p>ダスキン メリーメイド藤沢南店 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-12-33 フリーダイヤル: 0120-460-770</p>	<p>株式会社 小池 造園 代表取締役 小池 一彦 (昭和45年卒) 〒251-0004 藤沢市藤が岡2-9-5 TEL: 0466-22-5550 FAX: 0466-24-4295</p>
<p>渡辺啓二税理士事務所 税理士 渡辺 啓二 (昭和46年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸3-19-20 TEL: 0466-21-8150 FAX: 0466-21-8151</p>	<p>鈴木運輸株式会社 代表取締役 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-13-33 TEL: 0466-34-1118 FAX: 0466-34-1119</p>
<p>しらす料理 かきや旅館(腰越電車通り) 代表取締役 戸倉 孝二 (昭和50年卒) 〒248-0033 藤沢市片瀬海岸3-7-24 http://ishonan.com/kakiya TEL: 0467-32-4828 FAX: 0467-32-4180</p>	<p>住友生命保険相互会社 湘南栄光支部 支部長 富田 朝子 (昭和49年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢86番地 住友生命ビル5F TEL: 0466-27-6935 FAX: 0466-27-1305 URL: asako.811@sumiseijp</p>

るまえに、狭い小さな廊下をと
おると、油彩画やデッサンや彫
刻の小品が並んでいた。油彩画
に描かれていたのは、フランス
のエトルタの海岸風景であった。
部屋のなかには大胆なポーズの
裸婦のデッサンがあった。テー
ブルの上には万年筆、煙草に灰
皿、それと、端正な文字で書か
れたばかりの「分水嶺」の書き
かけの200字詰め原稿箋の束
がのつていた。

そのとき聞いた話では、週に
2、3回何人かのモデルのお嬢
さんが、交代で通ってくるとい
う。よく見ると、その右手の親
指が、ヘラのように変形してい
た。五本の指は、ふっくらとし
て太かった。「粘土はもちろん
自分ですべて練って使います。
ブロンズの微妙な色つけも、も
ちろん業者まかせにはしませ
ん。毎日、朝八時から夕五時ま
で、休憩をはさんで、仕事をし
ています。パリの芸術家でダメ
になつてしまう人はみな不規則
な生活をしていた人ですよ。そ
れほど太陽のリズムは大切なも

のです」

「日本に帰ってきて、戦前に
くらべ、女性の脚があまりに美
しくなっていたのには驚かさ
れました。いまでもこうして裸婦
デッサンを定期的に行っています
す」そこにあるデッサンは、一
枚もらつてかえりたくなるほど、
茶と緑のコンテによって生々
しく描かれていた。

「これは父の手製のエストラ
ゴンの酢漬けです」といつてピ
ン入りの香草をおいて、いとま
ごいをして帰つたのをおぼえて
いる。

(注)高田博厚(たかた ひろあつ、
1900年(明治33年)8
月19日〜1987年(昭和62
年)6月17日)は、日本の
彫刻家、文筆家。長くパリに
住み、幅広い交友関係を持っ
た。娘の田村和子は詩人田村
隆一の元夫人。(WIKIP
EDIAより)

鎌高剣道部

選手権大会開催

21回生(S45年卒)

鈴木勝貴

3月24日(土) 鎌高格技場
において、うしお会第3回鎌高剣
道部選手権大会が開催された。
これは、1970年卒の剣道部
OB金澤明氏が過去2年主催さ
れていた大会に今回から「うし
お会」の冠を付けたものです。



<p>有限会社 立花屋 代表取締役 叢 秀樹 (昭和51年卒) 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-3 ダイヤモンドビル内 TEL:0466-22-2373 FAX:0466-22-2373</p>	<p>株式会社 水落建設 代表取締役 水落 雄一 (昭和51年卒) 〒251-0015 藤沢市川名801 TEL:0466-26-1601 FAX:0466-23-6019</p>
<p>市島徹社会保険労務士事務所 代表 市島 徹 (昭和62年卒) 〒220-0011 横浜西区高島2-3-22 横浜OTビル6F A.L.C.S.総合事務所内 TEL:045-451-6211 FAX:045-451-6231 http://www.ichijima-labor.com/</p>	<p>株式会社 湘南セールスプロモーション 櫻井 淳 青野 久美 (昭和55年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-8-10-101 TEL:0466-25-1035 http://shonansp.com</p>
<p>有限会社 国分屋 http://www.kokubuya.com 〒252-0816 藤沢市遠藤728番地の7 TEL:0466-87-8832 FAX:0466-87-8836</p>	<p> 価値ある逸品もかけがえない一品も ⇒リフォーム&リペアお任せください 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-1フジサワ名店ビル2F tel:0466-26-3870 fax:0466-26-8390</p>

準備、賞状、トロフィー、参加賞として全員の昼食まで金澤氏が自費で行っています。誠に頭の下がる思いです。そして、今回うしお会に10万円もの多額の寄付を頂きました。金澤氏のよくな方々に支えられて同窓会も現役も大変な幸せ者です。剣道部OBの皆様、来年の大会には揃って応援に駆けつけていただきますようお願い申し上げます。そして、賞状の筆耕をされました1970年卒佐藤藤潔さんもあ



りがとうございました。また、顧問の先生から月星旗の手拭いを頂戴いたしました。当初の校旗になっていたのは月星旗だったそうです。いまは歌われていない応援歌に「はためく我らの月星旗」とあることがやっと理解できました。

気がついたこと

大磯町在住 (元教諭)

大房 晃雄

先日あれは四月中旬であった。富士五湖の河口湖畔にあるホテルに一泊して庭園に咲くサクラを楽しんだ。何本かのベニシダレも丁度七分咲きくらいでとても美しい。そのホテルで一夜を過ごしたのであるから当然のこと、トイレにはいった。そ

のトイレの扉に書いてある横文字にハテナと思われたのである。そこには *Western style* と記してある。憶い出してみると日本のホテルでは何処でも所謂洋式トイレの扉にはこの *Western style* と書いてあったようだ。(西) 洋式だからウエスタンスタイルかと深く考えもせず思い流していたのかな、およその記述は誰を対象にしたものだろうか。英語圏の人々(アメリカ・イギリスその他)のトイレは全て日本という洋式であろうから特に名称はないのであろう。それを無理にウエスタンスタイルと表現して西洋人(英語圏の人々)に示したとしてもおそろしく何の事か理解して貰えないと思う。あれは和式トイレの方に *Japanese style* と記した方がいいのではないだろうか。もし日本人を対象に



株式会社 重田 工芸
<http://www.shigeta-kougei.com>
 〒252-0816 藤沢市遠藤298-6
 TEL: 0466-88-6880

車検 修理 钣金 保険 自動車販売
 株式会社 ヤベ自動車工業
 〒252-0815 藤沢市石川6-1-1 (イトヨーカ堂湘南台店並び)
 TEL: 0466-87-5252 見積り、代車、引取 無料

してるのなら洋式(トイレ)と扉に書いておく方がよいだろう。

よく英語のようだが日本でしか通用しない言葉がかなりたくさんある。ホテルでのことを書いているので例をあげてみると「バイキング」などその例にあげられる。このごろでは正しく「ビュフエ」(方式)と言われることが多くなっているようだが依然として「朝食はバイキングです」などという表現も多く使われている。こんなことは皆さん百も承知なのでしょうが、「フロント」というのもよくないなあ、全て「レセプション」でしょう。

又、新しく言葉の市民権を得てのさばっている語や話し方もあると思うし反対に殆ど使われなくなった語も多い。二つ三つ印象に残るものを挙げておくと、便所→トイレ、アベック→ペア又はカップル、婦人→女性など。

科学的な用語も一般的によく使われるものも増えて来ている。生命科学(生物学)の用語であった「DNA」・「ハイブリッド」・「進化」などがある。このうちハイブリッドはもともと「雑種」という意であろう。つまり車の場合ガソリンと電気というような二つの動力源をこう称したものだと思う。進化という言葉もずい分と手軽に使われているようだが少なくとも十万年単位では見るこのできない現象であり実験室で簡単に証明できるものでもない。

先日若い人と話していて頁という字を示すと迷うことなくページと読んだのにはびっくりした。

よく言われているようにKタイのメールやパソコンの使用では言葉(漢字)は憶えないし、車に乗ればカーナビの教えてくれた通り進めば道に迷う心配もないわけで人がモノを憶えたり考えたりできなくても一向に困らないという状況が作り出されつつある。年寄りのトリコシ苦労だろうが人間社会の「進化」って何だろうかと考えさせられてしまう。

うしお会では皆様の同窓会を応援します

今年度より参加者1000名を超えられる学年同窓会、または部活動OB・OG会の開催につきましては、応援金として10,000円を寄付させていただきますことにいたしました。

幹事の方は、予め開催する旨、日時会場などをうしお会ホームページに掲載申し込みしてください。

尚、開催報告として数枚の写真とコメントを後日お送りください。ホームページまたは会報誌「うしお」に掲載させていただくことをご了承ください。

お申込み

うしお会ホームページからメールフォームでお申し込みください。

受取方法

開催日前日までに幹事さんへ来校していただきます。

※また、名簿、会場(うしお会)が経営する店舗(うしお会)などもご案内することが可能ですので、ご相談ください。



大石さんの思い出

6 回生 (S30 年卒)
福井 進

今年の正月1月4日、外出先から夜帰宅してなにげなくテレビをつけたところNHKニュースで大石尚子参議院議員の訃報の報道を聞きわが耳を疑いました。まだやりたいことが一杯あるので次の選挙にも出ようかしらと国政への更なる意欲も聞いていたので信じられない気持ちで一杯でした。1月9日の告別式に野田首相はじめ政府の要人の方々が列席しているのを見て改めて現職の国会議員が亡くなったことを実感しました。

大石さんと私は小学校、中学校そして鎌高と十二年間一緒に過ごした。彼女は決してがりが勉型ではありませんが、学業成績はいつもトップクラスでした。しかも勉強だけでなくあらゆる面でリーダーシップのある人だったので、いつも級長(今のクラス委員)や生徒会役員などをやっていて学校の中では目立った存在でした。正義感が強く曲がっ

たことは大嫌い、好奇心が強くてどんなことにも首を突っ込むという当時の女性には珍しく活動的な人でした。日本史で邪馬台国を支配した女王の卑弥呼のことを習ってからは、大石さんのあだ名は男子生徒の間では「ヒミコ」となりました。

彼女はなんでも出来る人で、鎌高では一年ではバレー部やテニス部に所属、2年からは弁論部に入り弁舌の技を磨いていたので、このことは政治家になって演説をする下地になったと思います。また生徒会役員をやっているが校内放送の企画・運営にも携わっていたので毎日のように彼女の声がスピーカーから流れていました。習字も上手で達筆、裁縫も得意で制服を業者から買わずに自分で仕立てたということも聞きました。

大学卒業後はしばらく小学校の教員や県立教育センター、短大講師などの仕事をしていたので県会議員当時は長年文教常任委員を務め、「教育の大石」と言われていました。衆議院でも参

議院でも文科学委員だったので教育は彼女のライフワークでした。母校鎌高に対しても愛校心が強く、忙しい中を卒業式や周年行事の式典などにはよく顔を出しては後輩たちを励ましていました。現在ある体育館の建設や国際理解ホール・図書室の新設に際しても陰ながら大変尽力されました。

大石さんのホームページの見出しには「祖父・秋山眞之の志を継ぎ戦わずして勝つ日本を創る」と書いてありますが、彼女の祖父は司馬遼太郎の「坂の上の雲」の主人公にもなっていて日露戦争の日本海海戦でロシアのバルティック艦隊を破った連合艦隊作戦参謀の秋山眞之海軍中将なので、その血筋をひく大石さんは時代こそ違え日本の将来を見据えて国を代表して日本のために活躍されたことには共通点があります。

いままでの大石さんの功績に敬意を表したいと思います。

政治家は彼女にとつて天職だったと確信していますが、あらゆる面に積極的で活動的でスケールの大きい人間だった大石さんがもし政治家以外の仕事に

ついていたら何をしていたのかなど想像すると興味深いものがあります。

ご本人にとっては、まだまだ遣り残したことも多く残念な旅立ちだとは思いますが、心からご冥福を祈っています。

大石尚子 略歴

(ウイキペディアより抜粋)

1936年8月、父・大石宗次、母・直子(秋山眞之の次女)の長女として生まれる

横浜国立大学附属小・中学校
神奈川県鎌倉高等学校、横浜国立大学芸学部心理学卒業
神奈川県立教育センター調査
研究部研究科主事、神奈川県立
外語短期大学講師を務める

1971年4月、神奈川県議会議員選挙に初当選、以後連続
5期18年務める

2000年6月、衆議院議員
総選挙に初当選、以後連続2期
当選

2007年7月、参議院議員
通常選挙に比例区から出馬、落
選したが同年12月に繰り上げて
初当選

2012年1月4日、呼吸不全のため死去、享年75歳

部活動報告

■剣道部

私たち剣道部は週5日、水曜日と日曜日を定休日と定め、3年前に床を新しくはりかえた格技場で活動しています。30年以上前から剣道部に指導をしに来てくださっている津田辰雄先生も健在で、月曜日と木曜日にいらしてください。ここ数年は惜しくも関東大会出場を逃していますが、年々遠征や合宿、練習試合を増やし、ベスト8の学校の倒し方を研究しています。ぜひOB・OGのみなさまも、防具を持って格技場にいらしてください。剣道部一同、お待ちしております。



■アメリカン・フットボール部

こんにちは、アメリカンフットボール部です！僕たちは、週5日、グラウンドで活動しています。昨年度の新人戦大会では、県1位の實力をもつ慶應高校と決勝戦で同点となり、ブロック同率優勝を果たしました。学校行事はもちろん、鎌高を盛り上げていくのは、アメフト部というくらい、元気がいっぱい。部員たちです。これからも、神奈川で2強と言われている慶應・法政に勝って、関東大会に出場することを目標に頑張っていくので、応援よろしくお願いします。GO！FAKERS！！



■弓道部

去年は、震災や台風の影響で合宿が中止になったり、射場

が壊れてしまったりと、満足のない練習ができなかったこともありました。そんな状況でも10月の神奈川県高等学校弓道新人大会で女子団体が準優勝し、青森県で行われた東日本高等学校弓道大会に出場することができました。このことは部員全員にとっても、良い経験、刺激となりました。これからも、技と精神力を磨いていき、試合で良い結果を残せるよう頑張ります。



■サッカー部

H23年度サッカー部は約90人で活動しました。関東大会、ベスト8、総体ベスト16、選手権ベスト23という戦績でした。

先生をはじめ、保護者・OBの方に支えられ「今年こそは県代表に！」と精一杯プレーしましたが、あと歩の所で悔し涙をながしました。来年は先

輩方の伝統と経験を受け継ぎ、鎌高サッカー部の誇りを持ちがんばります！！応援よろしくお願いたします。

■水泳部

こんにちは。水泳部です。私たちは昨年夏の関東大会に個人とリレーそれぞれで出場し、うち女子200m個人メドレーで江見涼香さんが7位に入賞し、インターハイへの出場を果たしました。昨年に引き続き、今年も関東大会・インターハイに出場し、いい結果を残すべく部員一同全力で練習に励んでいきます。応援よろしくお願いたします。



■ スキー山岳部

平成23年度は3年生3名、2年生4名で計7名で週4日で活動しています。

去年の主な活動は

5/9 仏果山

7/17 塔ノ岳

7/28 瑞牆山、金峰山

10/9 川苔山 (合宿)

1/10 大山

2/26 スキー練習会

です。詳しくは鎌倉高校のHPに掲載しています。現在は新入部員、確保に奔走中です。



■ 体操部

こんにちは、体操部部长です。私たちは3年生1人2年生7人の計8人で活動しています。人数は少ないですが、私の父も在籍していた伝統のある体操部は、まだまだ元気に活動しています。

去年は新人戦、藤沢市民大会、関東大会県予選に出場しました。今年目標は、関東大会県予選に団体で出場すること、新入部員をたくさん入れることです。いつか、後輩達の頑張っている様子を見に来てください！



■ 女子硬式テニス部

女子硬式テニス部は今、新3年生が8人、新2年生が15人で活動しています。私たちの代は例年に比べ、かなりの人数の為、練習内容等で苦勞することが多かったですが、積極的にみんなまで話し合うことで良い部活にしようと努力しています。まだ大きな大会で実績を残すことはできていませんが、3年は残り1ヶ月、精一杯練習をし、5月の団体戦で県ベスト16以上を目指し、後輩達に

良い刺激を与えることができたらいいなと思っています。



■ 男子テニス部

昨年度は、個人戦で湘南大会準優勝が最高の成績でした。現在、練習は男女隔日で行っていて、コートでの練習時間は他校に比べると少ないかもしれませんが、練習できる時間を大切に、練習内容を工夫しています。

また今年度は、団体で県ベスト8以上を目指して活動します。

現状では厳しいかもしれませんがこれから全員で努力していきます。

■ ダンス部

部員数37名で毎日明るく練習に励んでいます。

平成23年度県新人大会ではフリー部門において66団体の12位と好成績を収めました。目標としていた入賞には及ばず悔しい思いをしました。今年度こそは入賞すべく、よりいっそう力を入れて活動していきたいと思っています。30人近い入部希望者がいて嬉しい悲鳴をあげています。



■ 男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は3年生12人、2年生8人、マネージャー11人の計21人で活動しています。昨年の10月に行われた新人大会では湘南地区で1位になることができました。現在は県大会に出場し、そこで好成績を残すことを目標に毎日の練習をがんばっています。部員同士の仲がとても良く、毎日楽しくやっています。

これからも応援よろしくお願
いします!!



■女子バスケットボール部

私たちは昨年、県大会出場を
目標としていました。しかし
2回戦突破がなかなかできず
悔しい試合が続いていました。
その悔しさをバネにし、また
先輩方の諦めない心や努力を
惜しまない心を受け継ぎ、今
できることを精いっぱい練習
しています。今年も県大会出
場を目標とし、1・2・3年生
全員で力を合わせて頑張っ
ていきたいと思えます。

■バドミントン部

こんにちは。バドミントン部で
す。私たちは今男子17人、女
子13人という大人数でみんな
仲良く元気に活動しています。
去年は男女共に団体戦で県大
会に出場し、個人戦では高校

から始めた男子がシングルス
で県大会に出場し、女子はダ
ブルスで県ベスト8、シング
ルスでは関東大会出場を果た
しました。

今年も男女共に団体戦でも個
人戦でも県大会に出場し上位
の成績を残せるように頑張るの
で応援よろしくお願います。



■女子ハンドボール部

こんにちは！ 私たちは現
在プレーヤー15名、マネー
ジャー4名で活動しています。
昨年は夏の地区大会で優勝、
冬の地区大会は3位、そして
県選手権大会では県鎌女ハン
の歴代1位でもあるブロック
優勝を果たし、県ベスト12に
なりました。
全員が県ベスト8という同じ
目標に向かって日々、たくさ
んの方々に支えられて練習を

しています。

これからも女ハンらしい笑顔
と元気で頑張っていくので
応援よろしくお願います！



■女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、
3年生7人、2年生5人と少
ない人数ながらも、仲良く楽
しく毎日活動しています。
昨年の大会では、惜しくも県
大会に出場することができな
かったのですが、今年はずいぶん
大会に出場し、1つでも多く勝
ち進めるように頑張ってい
きたいと思えます。



■男子バレーボール部

男子バレーボール部です。
先輩たちに男バレーはいいせん
が部活は違ってがんばって
る先輩たちに負けないよう
にぼくたちは活動してきました。
いつか先輩たちが鎌高に来た
時に、「男バレーって強かった
の？」と思われるような部活
にしたいと思えます。
これからも応援よろしくお願
いします。

■陸上部

僕達陸上競技部では2年生3
人、3年生5人マネージャー
1人の計9人で、週5回元気
よく切磋琢磨しながら練習し
ています。

去年の神奈川県高校総体陸上
競技大会では、6人が県大会
に出場するなど、さまざまな
大会で活躍しています。今年
も1人でも多く県大会に出場
し、さらにその上の関東大会
に出場することが部としての
目標です。

4月の終りに、3年生として

は最後となる高校総体の予選会があるので、そこで良い結果を残したいです。



■ソフトボール部

ソフトボール部は現在2年生11人、3年生1人で活動しています。昨年の大会では1年生の経験者がおらず、2年生も1人というきびしい状況もあり、1勝もすることができずに悔しい思いをしました。今年はずいぶん悔しさをバネにして、1つ1つのプレーをより確実なものにし、まずは1勝を目指して、全員で力を合わせてがんばっていききたいと思います。



■卓球部

宮本先生と本校OBの山上治郎コーチの熱心な指導のもと、日曜日を除く毎日、体育館の二階で練習に励んでいます。今年度は県大会で上位に進めるよう、高い集中力で練習しています。中学校時代に目立った戦績を持つ部員はほとんどいませんが、目標に向かってお互いを高め合っています。鎌高卓球部が誇らしい思い出になるよう努力して行きます。卒業生のみなさん、応援よろしくお願いたします。



■茶道部

大佛次郎茶亭の公開時のお呈茶に参加したり、鎌倉大仏での慈善茶会でお点前をします。文化祭では、作法室と立礼席の2ヶ所でお茶会を催しました。2日間のお茶会で、用意

した250人分のお菓子がすべてなくなるほどのたくさんの方にお茶を飲んでいただくことができました。大変忙しかったですが、とても楽しいものとなりました。今年もいくつかのお茶会があるので、それに向けて頑張りたいと思います。



■吹奏楽部

私たちは3年12名2年12名の計24名で活動しています。顧問は小坂宏之先生で「聴いている人も演奏している人も感動できる演奏をする」を目標に日々練習を積み重ねています。去年の県南吹奏楽コンクールでは金賞を受賞。夏の野球応援や腰越祭り、鎌倉祭りなど地域に貢献できる活動も行っています。普段の練習から先輩、後輩の

仲が良く笑顔の絶えない楽しい部活です!! これからも吹奏楽部をよろしくお願いたします。



■室内楽部

室内楽部です! 現在は2年生のみで活動しています。活動内容はバイオリン、ピアノ、チェロなどの弦楽器をたのしくひくことです! 先輩方がやってきた施設訪問を受けついで、現在は2ヶ月に1度ほど訪問をしています。その成果が認められ平成23年度神奈川県高等学校文科連盟「連盟賞」という賞を頂きました。今年度も活動がんばります!!



■美術部

美術部は今、3年生3人、2年生2人の計5名で活動しています。去年は文化祭の年だったので、それに向けての作品制作に取り組みました。そのあとは夏に鎌倉市主催の平和美術展や鈴木病院の文化祭また、秋にある高校芸術祭に出展しました。今年は体育祭の年なので、小文化祭になります。そこで発表するための作品や、廊下に飾ったり高校芸術祭などの展示会に出したりするためにこれからも作品制作を頑張っていきます。



■日歌会

我等日歌会は、年4回の校内ライブを中心に日々互いに切磋琢磨し、楽しく活動しています。先日行われた新入生歓迎ライブでは、1年生と共に

大いに盛り上がり、成功を収めることができました。そして、この春日歌会では、まだ仮入部期間ながらも多くの新入生部員を迎え、より一層活動が盛んになってきております。最後に日歌会ではまだまだ加速し続けています。これからも、温かく見守って下さい。



■生物部

去年の主な活動は4月のプールでの生物の採取、6月の広町緑地で行った螢の観察会、文化祭での展示による発表でした。現在は部員が1人しかおらず、消滅寸前ですが、頑張っていきたいです。



■Glee club 合唱同好会

こんにちは!! Glee clubです。今年3月に設立されたばかりの同好会です。踊る! 合唱部をテーマとした海外ドラマ「Glee」を参考にし、歌・ダンスのパフォーマンスをしています。歌が好き、音楽が好き、人が楽しく活動し、運動部と兼部しているメンバーもたくさんいます。2月の発表会には本当に多くの方が見に来てくださり好評を博しました。今年も定期的な発表に向け、練習に励みたいと思います。



平成23(2011)年度 進路状況概況

(注) 合は合計数 現は現役生の数です。

大 学 名	2012	
	合	現
立 正 大	1	1
早 稲 田 大	36	21
東京医療保健大	2	2
東京有明医療大	1	1
麻 布 大	1	0
神 奈 川 大	29	20
神奈川工科大	1	1
鎌倉女子大	1	1
関東学院大	3	2
湘南工科大学	1	1
洗足学園音大	1	1
東洋英和女学大	11	11
フェリス女大	7	6
横 浜 薬 大	2	1
名古屋外大	1	1
同 志 社 大	1	1
明 星 大	4	2
立 命 館 大	3	2
関 西 外 大	2	2
岡 山 理 大	1	1
札 幌 大	1	0
札幌学院大	1	0
白 百 合 大	1	0
高 千 穂 大	1	0
私立大学合計	754	543
文部省所管外		
防衛大学校	2	2
水産大学校	1	1
航空保安大学校	1	1
海上保安学校	1	0
公立短期大学		
川崎市立看護短	1	1
私立短期大学		
東京農大短大部	1	1
湘 南 短	1	1
そ の 他		
専 門 学 校	4	3
海 外 大 学	3	3

大 学 名	2012	
	合	現
杏 林 大	3	2
慶 応 大	15	9
工 学 院 大	2	1
国 学 院 大	5	1
国 士 館 大	1	1
駒 澤 大	16	9
実 践 女 子 大	1	0
芝 浦 工 大	12	11
上 智 大	14	12
昭 和 薬 大	2	0
女 子 美 大	4	2
専 修 大	22	15
成 蹊 大	9	8
成 城 大	12	8
創 価 大	1	0
大 正 大	1	1
玉 川 大	8	5
多 摩 美 大	2	0
中 央 大	49	30
帝 京 大	4	4
東 海 大	10	10
東京家政大	4	4
東京女子大	3	3
東京造形大	1	1
東京電機大	2	2
東京農大	6	5
東京薬大	1	0
東京理大	17	11
東 邦 大	2	1
東 洋 大	12	10
日 本 大	39	27
日本社会事業大	2	2
日本女子大	6	5
法 政 大	36	22
星 薬 大	3	2
武 蔵 大	3	2
東京都市大	15	11
武 蔵 野 大	3	1
武 蔵 野 美 大	3	1
明 治 大	76	51
明 治 学 院 大	66	51
立 教 大	36	27

大 学 名	2012	
	合	現
国立大学		
北 海 道 大	2	1
東 北 大	1	1
茨 城 大	1	1
筑 波 大	2	2
千 葉 大	2	2
東京海洋大	1	1
電 気 通 信 大	2	1
東京工業大	3	2
一 橋 大	1	0
横 浜 国 立 大	14	13
新 潟 大	1	1
信 州 大	1	1
大 阪 大	1	0
神 戸 大	1	1
岡 山 大	1	1
徳 島 大	1	0
愛 媛 大	1	1
宮 崎 大	1	1
琉 球 大	1	1
国立大学合計	38	31
公立大学		
首都大東京	9	7
横浜市立大	8	8
神奈川保福大	1	1
都留文科大	1	1
静岡県立大	2	2
公立大学合計	21	19
私立大学		
北海学園大	2	1
国際医療福祉大	1	1
東京福祉大	2	2
文 教 大	4	4
聖 徳 大	1	1
帝京平成大	1	1
青山学院大	67	61
桜 美 林 大	8	8
大妻女子大	5	3
学 習 院 大	15	10
北 里 大	6	5

※ このデータは平成24年3月31日締めのものであります。今後変動する場合があります。

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
繰越金	3,484,596	3,484,596	0
61回入会金	1,380,000	1,380,000	0
利息	500	479	21
協賛金	1,500,000	2,198,101	▲698,101
寄付	0	4,000	▲4,000
合 計	6,365,096	7,067,176	▲702,080

*協賛金のうち広告費 290,000円

収入－支出

7,067,176円－3,551,329円＝3,515,847円
(2011年度へ繰り越し)

〈特別会計（周年行事積立金）〉

繰越金	100,006
積立金	280,250
利息	32
合 計	380,288

* 380,288円（2011年度へ繰り越し）

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
会議費	200,000	6,370	193,630
会報費	2,550,000	2,508,070	41,930
通信費	200,000	199,369	631
部活動補助	200,000	186,000	14,000
卒業記念品	250,000	241,920	8,080
設備整備費	200,000	152,040	47,960
交通費	100,000	1,000	99,000
雑費	50,000	56,560	▲6,560
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予備費	2,415,096	0	2,415,096
合 計	6,365,096	3,551,329	2,813,767

会計監査の結果、上記の通りであることをご報告します。

会計監査 立川 誠
廣田 真二

平成22年度
会計決算報告

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	3,515,847	3,484,596	31,251
入会金	1,390,000	1,380,000	10,000
利息	500	500	0
協賛金	2,000,000	1,500,000	500,000
寄付	0	0	0
合 計	6,906,347	6,365,096	541,251

〈特別会計（周年行事積立金）〉

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	380,288	100,006	280,282
積立金	200,000	200,000	0
寄付	0	80,250	▲80,250
利息	40	10	30
合 計	580,328	380,266	200,062

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
会議費	100,000	200,000	▲100,000
会報費	2,700,000	2,550,000	150,000
通信費	200,000	200,000	0
部活動補助	200,000	200,000	0
卒業記念品	250,000	250,000	0
設備整備費	200,000	200,000	0
交通費	50,000	100,000	▲50,000
事業費	100,000	0	100,000
雑費	50,000	50,000	0
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予備費	2,856,347	2,415,096	441,251
合 計	6,906,347	6,365,096	541,251

備 考

会報費：「うしお」印刷費、発送料
通信費：電話代、OCN利用料、切手代等
部活動補助：関東大会及び全国大会出場の場合
設備整備費：ホームページ管理費を含む
交通費：ボランティア交通費
事業費：同窓会応援金

平成23年度
会計予算

うしお会事務局からのお知らせ

① 会員番号変更並びに

振込用紙変更

会員番号変更

うしお会会員の皆様には整理の都合上、卒業年・3年次クラス・席番で管理運営をさせて頂いております。

しかしながら昭和から平成へと変遷することで卒業年も昭和と平成が混在して分かり難くなり、さらには卒業年と卒業年度も明確にされていなかった為、会員の皆様から一部苦情が出ておりました。

そこで今年の卒業生から和暦から西暦に一新するとともに、卒業年に統一することで会員の皆様方のご理解を賜りますようにここにお知らせする次第です。

(例) 昭和45年3月卒業で卒業時のクラスが7組で席順が23番の方の場合は

卒業年	3年次クラス	席番
旧会員番号	45	07
←		
新会員番号	1970	07
		←
		23

従来の6桁から8桁に移行します。西暦に慣れていない方は当初戸惑うこともあるかと思いますが、これで和暦が変わりましても会員番号は今後も変更はありませんのでよろしくお願いたします。

振込用紙変更

従来はゆうちょ銀行と横浜銀行への口座開設でしたが、今回新たにコンビニでの支払いが増えました。それに伴い1枚の振込用紙での振込が可能となり、同封の用紙をご利用することで振り込み作業が簡潔になりました。

注意事項

- (i) コンビニでの支払いはシステムの都合上、1回の振込金額が¥3,000になります。その他の金額の方は従来のゆうちょ銀行・横浜銀行をご利用ください。
- (ii) 又、コンビニでのお支払い期限は2012/9/20になりますが、それ以降のお支払は

ゆうちょ銀行並びに横浜銀行でお支払手続き願います。

② 協賛者の皆様からの

一言コメント

いつも協賛金を振り込んで頂きありがとうございます。なお同類のコメントはまとめさせて頂きました。

振込用紙にご記入頂いたコメント

- ・「雲湧き上がる日」は一番好きなお絵です。
- ・私の近況報告も送りたい気持ちはあるのですが…。
- ・各記事とても面白かったです。毎回ありがとうございます。
- ・26年卒、78歳、あと2年役員を続けようと思います。
- ・3月26日に予定されていた同窓会が延期になりました。中原・岩沢良先生も見える予定でしたので残念！
- ・いつも同窓会活動に尽力いただきありがとうございます。今秋クラス会(岩沢・中原先生)があるそうです。震災で
- ・3月から延期に。
- ・どなたかが連絡してくださったのでしよう。初めての「うしお」です。協賛金少々ですが…。
- ・生涯青春！同志と法人おたすけ隊を設立し、地域の施設を訪問し演奏活動を続けていきます。
- ・いつもご送付ありがとうございます。鎌高は私にとつていつまでも青春そのものです。S29卒です。鎌高の思い出も遠く、寄稿されている内容もピンとこない有様です。一度送金しただけでただ見！で失礼しました。皆様ご苦労様です。
- ・うしおありがとうございます。嬉しかったです。一気に読みました。
- ・鎌高生になったのはもう半世紀前のこと！現在に継がる絆を大切にしたいと思っております。お役目御苦労さま。
- ・近年「うしお」を送っていただけのように鎌高時代が懐かしくよみがえってきまし

- た。伊藤(昇)先生!の表紙絵の号があつたはずですが拝見したいです。
- 会報を送っていただきありがとうございます。キラキラ輝いた海、富士山、応援歌など懐かしく思い出されます。
- 森田様、田口追悼文「うしお」への掲載お世話様でした。
- 足が悪く局に行かれませんでしたので、お世話になっている局の方に行っていたいただきました。
- 会報30年ぶりに拝見しその充実ぶりにびっくり。協賛金何年か分まとめて納入したほうがよいのか迷いましたがとりにあえず一口から。
- 江ノ島の眺望、古びた日坂の駅舎。うしおに目を通すことに思い出されます。
- 高校卒業後、実家も引越してしまい同窓会の連絡も途絶えておりましたが先日79年卒の同窓会幹事さんよりうしお会から連絡先が分かったと電話をいただき出席できました。ありがとうございます。
- うしお楽しく拝見しています。鎌高がいつまでも元氣であるように期待しています。
- 会報が何人に送られているか知りませんが協賛金が少なすぎますね。なんとか50%目指す方法はないものかお互い考えましょう。
- うしおお送りいただきありがとうございます。田口雅己様のご冥福心よりお祈りいたします。残念です。
- 今まで送金せず申し訳ありません。卒業30年の思いを込めて送金します。
- いつもうしおお送りいただきありがとうございます。この春孫が入学しました。夢のようです。益々素敵な鎌高でありますよ!。
- 会報初対面で感激です。多年流浪の民でしたが今は四万十川のほとりで細々と家族で農業しています。これからも宜しくお願いします。
- 老齢のため字を読むのが苦手になりましたので会報の送付辞退。
- 最近の記事は読みやすくバラエティに富み洗練されてきています。編集されるスタッフの方々のご苦労がわかります。やはり無料で配信してもらっては申し訳ないので今回から振り込みます。
- 「潮会」を「うしお会」に統一したほうがよい
- 終身会員(永代会員)制度をご検討下さい。某大学OB会ではすでに活用しているところもあります。一括支払です。年齢制限は60歳以上とか65歳以上とかに。
- 長い間懐かしいお便りありがとうございました。私も恒例につき眼も不自由になってきましたのでこの期を最後としたいと思えます。会の末長い発展をお祈り申し上げます。
- S39年次18組クラス会を野村先生から開催してもらいたいと依頼されているが未だ実行できず心残り。
- 「うしお」楽しく読みました。同級生の田口雅己氏の特集があり保存版にして大切にします。やあ、しばらくと日坂クラブの会合に参加された田口氏にもうお会いできないとはさびしく、額の版画を眺めています。
- 潮会のこと30号で初めて知りました。朝テニスクラブで頑張っています。72歳、40年以上週4回程度クラブ生活続けています。
- 会報ありがとうございます。益々美しい本になり読み応えがあつて楽しく読ませていただいております。
- 小暮先生ががんばってね。7/30に2009のクラス会をしたら17人も集まりましたよ。
- いつも楽しみにしています。忘れ難き鎌高時代です。
- いつも会報送っていただきありがとうございます。これからも楽しみに。
- 卒業と同時に転居し、同窓会においては不明者となりましたが還暦を迎えた今年うしおが送られてきて感激します。今はない地歴部OBの一部仲間で年2回会い学生時代に戻り楽しい時を過ごしております。
- 「うしお」30号をお送りいただきありがとうございます。表紙の絵に懐かしさで胸がいっぱいになりました。
- 先月10/22に行われた57年度卒の同窓会、懐かしい友人、先生にあえて嬉しかったです。幹事さんお疲れ様、ありがとうございます。
- 昨年初めて会報が届きました。

平成24年度総会&懇親会のお知らせ

昨年も6月に総会、懇親会を行い、幅広い年代の多くの方にご参加いただき楽しく過ごすことが出来ました。

本年も、以下の通り総会&懇親会を行います。多くの方にご参加いただき、新しいうしお会の方向を話し合しましょう。懇親会バーベキューには、今回も、多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

■ 平成24年度総会 ■

以下の日程で行われます。

日 時：平成24年6月23日(土) 11:00~12:00

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール
(旧図書館の場所)

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）
でしたらどなたでも

議 事：(1) 平成23年度事業報告について
(2) 平成23年度会計決算報告について
(3) 平成23年度会計監査報告について
(4) 平成24年度事業計画案について
(5) 平成24年度会計予算案について
(6) 平成24年度・平成25年度
役員について
(7) その他



写真は昨年6月の様子

うしお会 懇親バーベキュー大会のご案内

今年度も、総会終了後、懇親会を開催します。晴天ならば屋外でバーベキューを行います。年齢を超えた先輩後輩の親睦を深めましょう!!

日 時：平成24年6月23日(土) 総会終了後12:30頃から

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール前の中庭（雨天の場合はホール内）

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）でしたらどなたでもご出席いただきたく存じます。
また、ご家族の皆様もお連れ下さい。

参加費：1,000円（小学生以下無料）

申込み：うしお会のホームページよりメールフォーム
またはファックスにてお申し込み下さい。



昨年6月の記念撮影

役員役割分担

- 会長 鈴木勝貴 (S45年卒)
- 副会長 増田隆之 (S40年卒) 総務担当
- 副会長 森田豊文 (S41年卒) 会報担当
- 副会長 深澤隆史 (S41年卒) 会計担当
- 会計監査 立川 誠 (S41年卒) 「うしお」編集委員
- 会計監査 廣田眞二 (S42年卒)
- 書記 高橋建二 (S46年卒) 総務(運営担当)
- 書記 堀 英彦 (S46年卒) 総務(名簿担当)
- 書記 渡辺 晃 (S47年卒) 総務
- 書記 峰 治 (S56年卒) 総務(名簿担当)
- 書記 新田 尚 (S62年卒) 会報
- 書記 桜井 淳 (S55年卒) HP
- 顧問 滝沢茂男 (S41年卒)

学校側役員

- 校長 柏木隆良
- 副校長 原田三紀夫
- 教頭 志村幸彦
- 事務局 小柴健司 (S48年卒)
- 事務局 都築秀保 (S46年卒)
- 事務局 木暮博道 (S54年卒)
- 事務局 醍醐 幸 (S58年卒)
- 事務局 野鈴恵 (H元年卒)

編集後記

今回から協賛金の振込み方法として、従来のゆうちょ銀行、横浜銀行に加えコンビニ二からも出来るように致しましたので、より協賛金の振込みが便利になります。

これからも皆様のご支援をお願いいたします。

「みんなで作るうしお」…投稿・ご意見募集!!

同窓会「うしお」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にもなく会員となっております。在学中、楽しかった人も楽しくなかった人も、卒業後は新たに世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。世代は違って、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお」を通してリンク(つながって)していきたいでしょう!!

会では、会報誌「うしお」や同

窓会ホームページをもっと沢山の方々に利用し、楽しみ、仲間の輪を広げていただきたいと思っております。

そこで、「みんなで作るうしお」と題して、投稿やご意見を募集しております。同窓会でこんな行事してほしい。(講演会、合唱コンクール!?: : e t c)活躍する鎌高卒業生、鎌高卒の有名人、鎌高卒の方のお店紹介。私こんなことやってます。是非見て、聞

❖ 広告募集 ❖

会報「うしお」の広告を募集しております。厳しい経済環境ではありますが、会員皆様のより一層のご協力とご理解を、お願い申し上げる次第です。

- 料金 / 一 枠 : 10,000円
- お問い合わせ先 : うしお会 広告事務局
☎ 0466-25-1035
✉ pet@toretate-shonan.com

いて…: : 等等。こんな記事があったら、こんなコーナーがあったら盛り上がるよ、というような事ありましたら同窓会までお知らせください。お待ちしております。

県立鎌倉高校同窓会「うしお」事務局
メール :
E-mail:kamako@ceres.ocn.ne.jp
Fax : 〇四六七-三九一三六八
ホームページアドレス :
http://www.ushiokai.net.

インターネットでどんどん広がる「うしお会」

<http://ushiokai.net>

うしお会

で検索!

インターネットによる情報収集や通信販売がますます盛んになっていく世の中です。うしお会のホームページもどんどん進化していきます。

会報誌「うしお」のウェブ配信はもちろん、皆さんの参加でフォトギャラリーや同窓会情報など多くの同窓生にとって、いつも新しい情報が掲載されていて、アクセスするのが楽しいホームページに進化させていきたいと思います。

ポイント!!

1. 会報誌「うしお」が配信されています。
2. 住所が変わった方から簡単にご報告いただけます。
3. 鎌高周辺の美しい風景のフォトギャラリー。
4. 各年代で行われる、または行われた同窓会情報をご覧ください。
5. 同窓会情報のページはインターネット上で情報交換が可能です。
6. 鎌高公式サイトの最新情報も自動的に更新されます。
7. 携帯でもご覧いただけます。
8. facebookでも「うしお会」仲間がグループを作って情報交換中です!
「友達を検索」してみてください!!

神奈川県立鎌倉高校
同窓会うしお会

携帯電話からも
ご覧いただけます

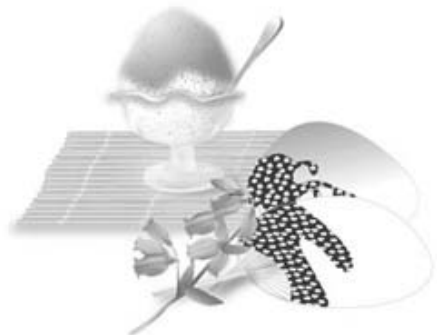


どうぞ、「お気に入り」に入れて、毎日ご覧になってください。



発行所
二〇一二(平成24)年
五月三〇日

発行所
神奈川県立
鎌倉高等学校・同窓会
鎌倉市七里ヶ浜 潮会
二一二十一ー一
〇四六七
三二一四八五一
事務局直通
(TEL/FAX)
〇四六七
三九一三六六八



<http://www.ushiokai.net>

E-mail:kamako@ceres.ocn.ne.jp